

地域を知り, 防災を考える

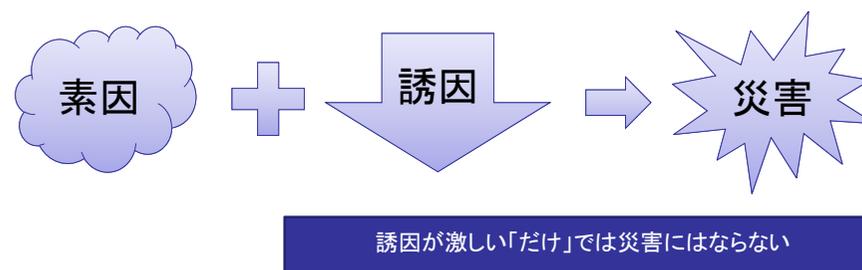
静岡大学防災総合センター

牛山 素行

disaster-i.net

素因と誘因

- 素因
 - その土地が持っている災害にかかわる性質(地形, 地質, 気候, 人口など).
- 誘因
 - 災害を発生させる直接的な引き金(地震, 豪雨, 津波など). Hazardとほぼ同じ.



静的情報と動的情報

両者を組み合わせて使う

- 静的情報
 - 時間的に大きく変化しない情報
 - 「素因」に関わる情報
 - ハザードマップなど
 - 主に平常時に, 地域を知るために
- 動的情報
 - リアルタイムに変化する情報
 - 「誘因」に関わる情報
 - 雨量などの観測値, 警報や避難勧告など
 - 主に災害時に, 迫る危険を知るために

地域防災を考える上で重要なこと

- 地域を知ることが大変重要
 - 素因を知る. ここではどんなことが起きそうか?
 - 情報源は充実しつつある
 - 住民だけでなく, 様々な専門家の知見を交えて
- 「避難」を画一的にとらえないことが重要
 - 災害の種類によって有効な「避難」は異なる
- 災害情報を活用し, 各自で考える
 - ハザードマップなどの素因情報で地域を知る(平常時)
 - 大雨警報などの誘因情報で迫る危険を知る(災害時)
 - 行動の判断は自分で決める. 誰かからの指示を待たない.